

平成30年度 行政評価 施策カルテ

施策名	5 地域情報化の推進
-----	------------

施策主管課	情報政策課	総合計画記載頁	162ページ
-------	-------	---------	--------

1 施策の位置付け

政策の柱	VI 持続的発展が可能な都市の自治基盤を確立するために	政策名 (基本施策名)	24 行政経営基盤を強化する	政策の達成目標 (基本施策目標)	本市の行政運営を効果的・効率的に行うことで、行政経営基盤が強化されています。
------	-----------------------------	----------------	----------------	---------------------	--

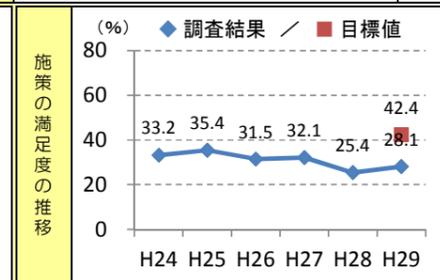
2 施策の取組状況

施策目標	ICTが有効に利活用され、行政サービスの利便性と行政経営の効率性が高まっています。
------	---

① 施策指標	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29 (目標年)	評価	② 市民意識調査結果	指標名(単位)		H24 (現状値)	H25	H26	H27	H28	H29	評価			
	指標1	身近な行政手続きの電子化率(%)	単年度目標値	53.3	60.0	80.0	80.0	100.0			100.0	A	指標2	施策の満足度(%)	調査結果	33.2%	35.4%	31.5%		32.1%	25.4%	28.1%
現状値			53.3%	実績値	53.3	60.0	66.7	73.3	93.3	100.0	目標値(H29)				42.4%	前年度からの増減	2.2pt	-3.9pt	0.6pt	-6.7pt	2.7pt	
目標値(H29)			100%	単年度の達成度	100.0%	100.0%	83.4%	91.6%	93.3%	100%	③ 主要な構成事業の進捗状況 (主要な構成事業の個別の進捗状況は、「3 施策を構成する事業の状況」を参照)				B							
① 施策指標	指標1	単年度目標値	/						/		【参考】 中核市等との水準比較	携帯電話普及率(%)	中核市平均	92.0	92.2	92.0	92.0	①72 ②57	①72.72 ②56.85	/		
		現状値	/						/				実績値	93.3	93.3	93.3	93.3	①74.4 ②57.7	①74.4 ②57.7			
		目標値(H29)	/						/				中核市での本市の順位	17位/41市中	18位/41市中	18位/42市中	19位/43市中	①13位/45市中 ②22位/45市中	①15位/48市中 ②22位/48市中			
	指標2	単年度目標値	/						/			パソコン普及率(%)	中核市平均	75.5	75.6	75.0	75.3	①39.7 ②61.4 ③22.4	①39.14 ②60.81 ③22.06	/		
		現状値	/						/				実績値	76.3	76.3	76.3	76.3	①36.2 ②58.4 ③20.2	①36.2 ②58.4 ③20.2			
		目標値(H29)	/						/				中核市での本市の順位	20位/41市中	21位/41市中	21位/42市中	22位/43市中	①32位/45市中 ②29位/45市中 ③30位/45市中	①32位/48市中 ②30位/48市中 ③30位/48市中			

※『①施策指標』の単年度の達成度の計算について

★ 増進型の指標(目標値が基準値より増加することが望ましいもの)	$\frac{\text{実績値}}{\text{目標値}} \times 100 (\%)$
★ 逓減型の指標(目標値が基準値より減少することが望ましいもの)	$\frac{\text{目標値}}{\text{実績値}} \times 100 (\%)$



※ 評価の考え方	① 施策指標	A: 達成度90%超 [33点]	B: 達成度70%~90% [25点]	C: 達成度70%未満 [15点]
	② 市民意識調査結果(満足度)	A: 前年度より向上 (+5pt超) [33点]	B: 前年度同水準 (±5pt以内) [25点]	C: 前年度より低下 (-5pt超) [15点]
	③ 主要な構成事業の進捗状況	A: 計画以上 (主要な構成事業の2割超が計画以上) [33点]	B: 計画どおり (主要な構成事業の8割超が計画どおり) [25点]	C: 計画より遅れ (主要な構成事業の2割超が計画より遅れ) [15点]
総合評価	順調: (A評価が2つ以上(C評価がある場合を除く。)) [90点以上]		概ね順調: (主にB評価が2つ以上) [65点以上90点未満]	やや遅れている: (C評価が2つ以上) [65点未満]

取組内容と成果・成果の要因、進捗の状況

施策を取り巻く環境等	ICTの進展に伴う通信環境の充実やスマートフォン・タブレットの普及など、誰もが時間や場所を問わずインターネットを活用し、電子申請を始めとする各種サービスを利用できる環境が整備されるとともに、一部の大企業においてはサービスの創出や生産性の向上に向けてIoT, AI, ドローンなど新たな技術の利活用が進んでいる。本市においても、これらの状況を踏まえ、更なる市民の利便性向上や地域経済の活性化に資する情報化施策の展開が求められている。			総合評価	83点
施策指標	平成29年度については、情報公開制度における電子的な手続(電子メール)の追加や公共施設予約システムの対象施設における貸出面数の拡大を行ったことにより、身近な行政手続きの電子化率が向上している。	市民満足度	「生活に密着した行政サービスの電子化」や「分かりやすい市政情報の発信の推進」に向け、平成28年10月から、各種証明書のコンビニ交付を開始するとともに、市ホームページについて急速に普及するスマートフォンによる閲覧への対応を行ったことなどにより、市民満足度は向上している。		概ね順調

3 施策を構成する事業の状況

※凡例 ○:「総合計画の戦略プロジェクト・主要事業」対象, ★:「③ 主要な構成事業の進捗状況」対象(5事業選択)

No.	事業名	戦略P・主要事業※	事業の目的	事業内容		事業の進捗状況	H29事業費(千円)	開始年度	日本一施策事業	施策目標を達成するための取組方針
				対象者・物(誰・何に)	取組(何を)					
1	地域情報化計画の推進及び推進組織の運営	★	本市における計画的な地域情報化の推進	市民, 事業者	・第3次宇都宮地域情報化計画に係る施策事業の推進及び進行管理 ・第4次宇都宮市情報化計画の策定	計画どおり	6,502	H13		計画に掲げる事業の着実な推進に向けて, 宇都宮市情報化推進本部に設置する「推進チーム」において計画全体の進捗管理や個別課題の検討を行うとともに, 「宇都宮市地域情報化推進懇談会」を開催し, 医療・福祉, 産業等各分野における情報化の現状・課題について意見交換を行う。 また, IoT, AI, ドローンなど今後活用が見込める新たな技術について調査・研究を進め, 「宇都宮市情報化推進専門委員」からの助言を得るなど本市における活用に向けた検討を行うとともに, 本市が公開するオープンデータの企業等における利活用を促進するなど, 地域課題の解決や地域の活性化に向けた取組を推進していく。
2	情報システムの最適化	★	効率的・効果的な行政運営の推進	市民, 事業者, 職員	・業務の効率化・高度化 ・共通基盤システムを活用した情報システムの共用	計画どおり	222,677	H23		「宇都宮市情報システム最適化取組指針」に基づき, 住民基本台帳系システムや市税システムなどホストコンピュータ上で稼働するシステムについてパッケージシステムによる再構築を行うとともに, 庁内に分散する情報システムの共通基盤システムへの集約・統合を進める。 また, マイナンバー制度など新たな制度への対応等に伴うシステム数・費用の増大などのシステム環境の変化について現状把握を行い, 最適化の定量的効果について検証するなど, 引き続き, 全庁的な視点から情報システム維持管理経費の適正化やシステム利用の効率化・高度化を推進していく。
3	行政サービスの電子化の推進	○★	行政手続きにおける利便性の向上	市民, 事業者	・身近な行政サービスの電子申請化の拡充 ・電子申請届出・電子納付サービスの導入検討	計画どおり	4,245	H19		身近な行政手続きの電子申請化の推進については, 公共施設予約システムなど既存サービスを継続して提供するとともに, 市税におけるクレジットカード収納など新たな行政手続きの電子化について検討していく。 また, 国が進めるマイナポータルを活用した行政手続きの電子化についても, 国や他市の動向を踏まえ, 更なる市民の利便性向上に向けて検討していく。
4	地理情報システム(GIS)の整備	★	・地域・住民サービスの向上 ・業務の効率化・高度化	市民, 事業者, 職員	・地図を活用した市民への情報提供(拡充) ・地図の共有化による業務の効率化	計画どおり	5,832	H12		「市民向け公開型GIS」については, 防災・観光等の市民ニーズの高い情報や福祉・環境等の市民生活関連情報, 本市の重要施策に関連する情報など掲載情報の充実を図るとともに, 市民・企業等の積極的な利用促進に向けた周知啓発を行っていく。 「庁内GIS」については, 庁内に分散する個別業務向けGISの集約・統合を進めるとともに, 職員向けの研修の実施により, 調査・分析等の業務への庁内GISの利活用を推進していく。

4 今後の施策の取組方針

今後の方向性	
課題	方向性
<p>◆ICTが急速に進展し, スマートフォンやタブレット等の機器の保有やインターネットの利用が一般化する中で, 市民の行政サービスに対するニーズは多様化してきている。市民等が進展するICTの恩恵を実感できるよう, 市民ニーズやICTの技術動向等を踏まえながら, 医療・福祉, 産業など市民生活に身近な分野におけるICTの利活用など, 市民等の視点に立った効果的な情報化施策を推進する必要がある。</p>	<p>〈施策全般〉 情報化の推進に当たっては, 今後も継続して行政手続きの利便性向上や業務の効率化・高度化, 情報システム最適化など行政の情報化を進めるとともに, ICTの急速な進展など時代潮流の変化や少子高齢化, 人口減少などの社会環境の変化に的確に対応し, 医療・福祉, 産業など市民に身近な分野に重点を置きながら, IoT, AI, ドローンなど新たな技術の活用やオープンデータなど本市が保有する行政情報の官民における効果的な利活用など, 市民生活の利便性向上や地域課題の解決につながる情報化施策を推進していく。</p> <p>〈主要事業〉 ◆行政サービスの電子化の推進 既存サービスを継続して提供するとともに, 市税におけるクレジットカード収納など新たな行政手続きの電子化について検討していく。 また, マイナポータルを活用した行政手続きの電子化についても, 国や他市の動向を踏まえ, 更なる市民の利便性向上に向けて検討していく。 ◆地域情報化計画の推進及び推進組織の運営 宇都宮市情報化推進本部における検討や「宇都宮市地域情報化推進懇談会」の開催により, 第4次宇都宮市情報化計画に掲げる事業の着実な推進を図るとともに, IoT, AI, ドローンなど新たな技術の活用や本市が公開するオープンデータの企業等における利活用を促進するなど, 地域課題の解決や地域の活性化に向けた取組を推進していく。 ◆情報システムの最適化 今後も厳しい財政状況が見込まれることから, 引き続き, 構築システムの精査や構築費用の平準化, 分散する情報システムの統合・集約など, システム経費の節減を図り, 必要なICT投資, 再投資が可能になるような取組を推進する。 ◆地理情報システム(GIS)の整備 「市民向け公開型GIS」について, 市民ニーズの高い身近な情報など掲載情報の充実を図り, 市民・企業等の積極的な利活用を促進するとともに, 「庁内GIS」について, 職員のGIS利活用能力向上のための研修の実施などにより, 政策形成への活用など, GISの高度利用に向けた検討を行っていく。</p> <p>〈その他個別事業〉</p>